

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(尾鷲市)と今後の取組について

令和5年9月14日  
尾鷲市教育委員会

令和5年度全国学力・学習状況調査が、4月18日(火)に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施され、その結果が7月末に公表されました。

尾鷲市教育委員会では、本市における児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果、今後の取組について以下の通りまとめました。

## 1 調査概要

### (1) 目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 実施日 令和5年4月18日(火)

### (3) 調査実施人数 小学校6年生 115人、 中学校3年生 117人

### (4) 調査内容

#### ① 児童生徒に対する調査

##### ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学、英語(中学校)〕

##### 下記の2点について一体的に問う問題

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

##### イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

#### ② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

## 2 調査結果の取扱いに関する配慮事項(実施要項抜粋)

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である。一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

### 3 教科の調査結果概要

調査問題は毎年異なることから、平均正答率は問題の難易度により毎年変化し、年度間の平均正答率による単純な比較はできません。

そこで本市では、文部科学省から配布されている「標準化得点換算ツール」を使用して、その年の全国平均正答数を100とした場合の本市における得点状況を算出しております。そうすることで、全国的な状況との関係について年度間の変化を経年で比較することができます。R1年度に小学校6年生で受験した子どもたちが、R4年度の中学校3年生で受験していることから、経年変化だけでなく、その学年の子どもたちの変容を把握することも可能です。

なお、本年度は、平均正答率についても掲載することとしました。

#### 令和5年度全国学力・学習状況調査結果より

	小学校調査			中学校調査				
	国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語	英語話すこと
全国	100	100	100	100	100	100	100	100
R5	98	98		99	99		98	101
	63 (67.2)	58 (62.5)		68 (69.7)	50 (51.0)		40 (45.6)	14 (12.4)
R4	93	94	94	96	98	98		
R3	96	98		96	96			
R2								
R1	97	97		97	97		97	

※R5の下段は、平均正答率（※( )内は全国平均正答率）を示しています。

※H29年度より、市の平均正答率については、文部科学省から整数値で結果が提供されていますので、整数値で表示しています。

小学校では、いずれの教科も全国平均正答率を下回っていますが、その差が小さくなっています。昨年度調査から課題を分析し、課題改善のために取り組んだことの成果がうかがえます。

中学校では、英語の話すこと以外の教科において、全国平均正答率を上回ることができませんでしたが、その差は小さくなっています。経年の変化を見ても、全国との差が縮まってきています。

家庭学習の定着や生活改善に向けて、学校、家庭、地域が連携して取り組んできたことが、子どもたちの学びに向かう力等につながり、結果に現れてきていることも考えられます。

### 4 各教科に関する調査結果の分析

#### 小学校国語（◇強み ◆弱み）

- ◇ 原因と結果など情報と情報との関係として適切なものを選択する問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◇ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◆ 文章の中の「いがい」「きかん」を、漢字を使って書き直す問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられます。

<課題が見られた具体的な設問例>

1 米作りについて解説する文章を書く

三(1)【言葉の特徴や使い方に関する事項】知識・技能  
漢字を文の中で正しく使う問題

雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。

ウきかんは7月1日から15日までです。

(正答) ア 意外 イ 期間

三  
(1)  
部ア、ウを漢字で  
ていねいに書きましょう。

2 複数の本や資料を読み、自分の考えをまとめる(運動と食事)

三【情報の使い方に関する事項】知識・技能

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う問題

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

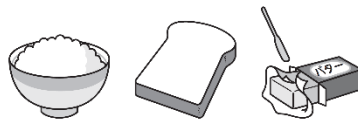
規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになり、病気にかかりにくくなります。

<栄養素の主な働きと食品の例>

主にエネルギーのもとになる



米、パン、バターなど

主に体をつくるもとになる



肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるもとになる



野菜、果物など

三  
相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話聞いて、【資料3】に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で困んだり線でないだりして整理している【資料3】です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 3 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

(正答) 4

### 小学校算数（◇強み ◆弱み）

- ◇ 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める問題は、相当数の児童ができています。
- ◇ 正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題は、相当数の児童ができており、全国平均正答率を上回っています。
- ◆  $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$  の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がみられます。
- ◆ 正三角形の意味や性質の理解や、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられ、全国平均正答率を5ポイント以上下回っています。
- ◆ 示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。

### <課題が見られた具体的な設問例>

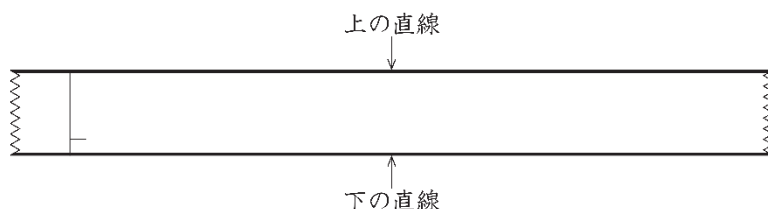
2 図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること(テープ)

(3)【図形】知識・技能

正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線  
は平行で、テープのはばはどこも等しくなっています。



(3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の①の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。

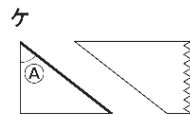
【えいたさんのつくり方】

① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。

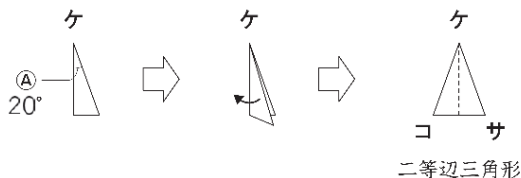
② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。

③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。

④ 開くと三角形ができました。



わたしは、①の角の大きさを  $20^\circ$  にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、①の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、①の角の大きさを何度にすればよいですか。

答えを書きましょう。

(正答) 30

4 目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったり捉えたりすること(運動調べ)

(1) 【変化と関係】知識・技能

百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題

(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

(正答) ウ、エ



中学校国語（◇強み ◆弱み）

- ◇ 目的や場面に応じて質問する内容を検討することは、相当数の生徒ができており、全国平均正答率を上回っています。
- ◇ それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◇ 「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択しその解説の仕方を書く問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◆ 具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題では、課題がみられ、全国平均正答率より10ポイント近く下回っています。
- ◆ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がみられ、全国平均正答率を5ポイント以上下回っています。
- ◆ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと、古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることに課題がみられ、全国平均正答率を5ポイント以上下回っています。

<課題が見られた具体的な設問例>

③ レポートを書く（「判じ絵」）

一【書くこと】思考力・判断力・表現力

読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える問題

判じ絵はんについて

山田 光一


1. はじめに  
 学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法  
 学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か  
 「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解説して楽しむものである。  
 (ア) ただし、【図1】のように、描かれているものと意味しているものが異なるため、解説する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。  
 (オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

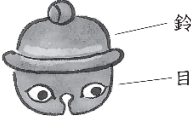
■「判じ絵」の解説の面白さ  
 「判じ絵」の解説の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



濁点

サル

【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解説する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。



鈴

目

【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解説すると、鳥の「スズメ」という意味になる。


【図2】スズメ

【図3】

【図3】は、

下書きの一部

③ 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

一 山田さんは、「1. はじめに」の  線部「もち」を「もったため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。
- 2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。
- 3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。
- 4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。

(正答) 4

### 三【情報の扱い方に関する事項】知識・技能

#### 具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題

三 山田さんは、「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

(正答例) (分ける箇所) ウ (見出し) 『判じ絵』の歴史  
『判じ絵』の起源と広がり  
など

#### 中学校数学 (◇強み ◆弱み)

- ◇ -5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◇ 数と整式の乗法  $12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{5}\right)$  の計算をする問題は、相当数の生徒ができており、全国平均正答率を10ポイント以上上回っています。
- ◇ はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める問題は、相当数の生徒ができており、全国平均正答率を10ポイント以上上回っています。
- ◇ 四分位範囲の意味について理解しているかどうかをみる問題では、全国平均正答率を10ポイント以上上回っています。
- ◆ 反比例の意味の理解について、課題がみられます。
- ◆ 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることの意味について、課題がみられます。
- ◆ 累積度数の意味を理解しているかどうかをみる問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ グラフや式を用いて、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がみられます。
- ◆ 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取る問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。

<課題が見られた具体的な設問例>

③ 空間図形

【図形】知識・理解

空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる問題

③ 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

(正答) エ

⑦ データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること(黄葉日)

【データの活用】思考・判断・表現

「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する問題

⑦ イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのかが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

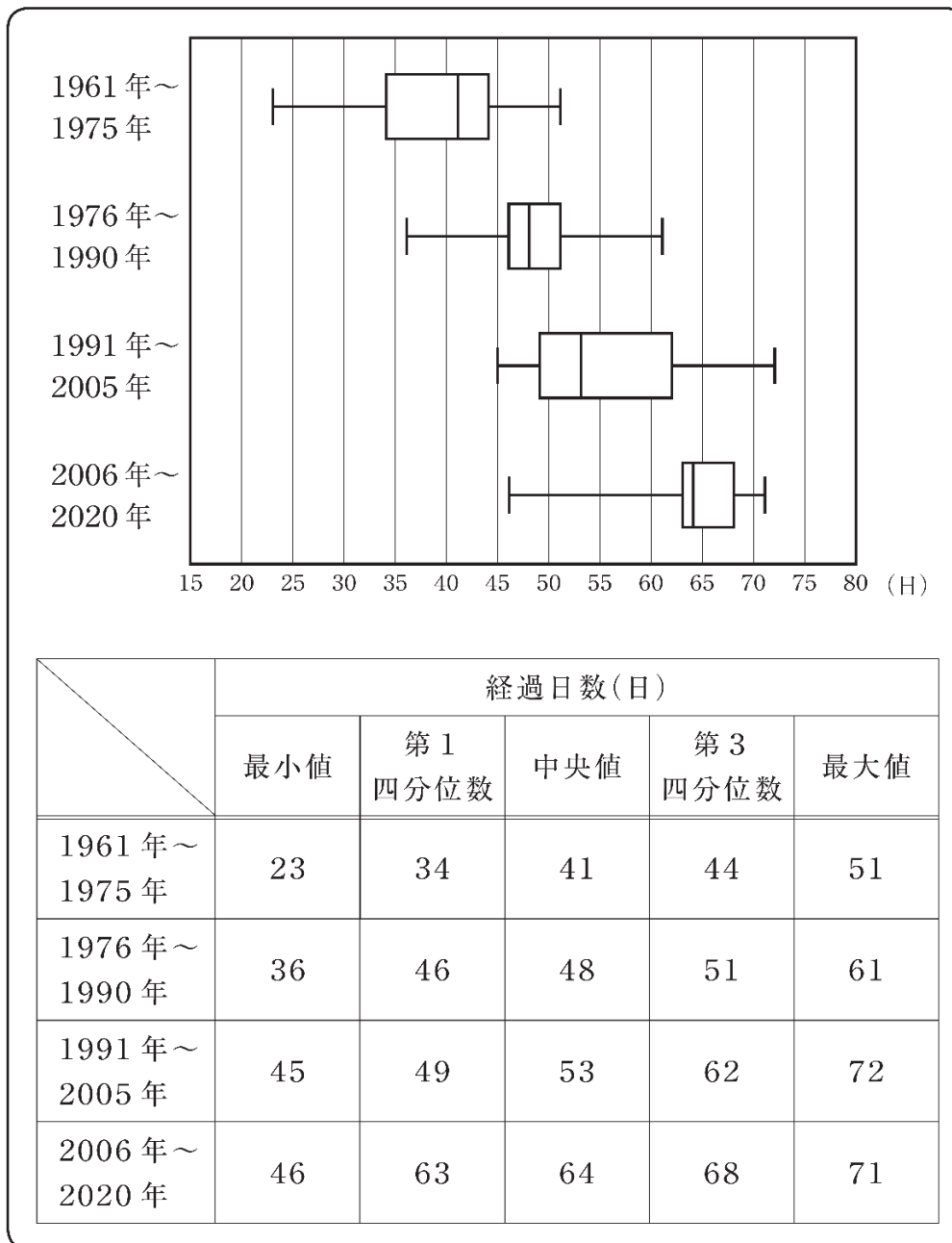
二人は、左の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして

1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。



## 黄葉日までの経過日数の分布



(2) 二人は、上の箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん 「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向があり  
そうだね。」

啓太さん 「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、  
右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。  
遅くなっているといえるのかな。」

一花さん 「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、  
2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日  
より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

上の箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、  
1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と  
2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

(正答例)

- ・ 1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にある。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。
- ・ 1991年～2005年の第1四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きく、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第3四分位数の方が大きい。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。
- ・ 1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きい。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。

### 中学校英語・話すこと (◇強み ◆弱み)

- ◇ 文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◇ 動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、お土産としてふさわしいものとその理由を伝える問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◆ 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題では、全国平均正答率を20ポイント以上下回っています。
- ◆ 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がみられ、無解答率が20ポイント以上あります。
- ◆ 未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くこと、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことに課題が見られます。
- ◆ 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことに課題がみられます。
- ◆ 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がみられます。

### <課題が見られた具体的な設問例>

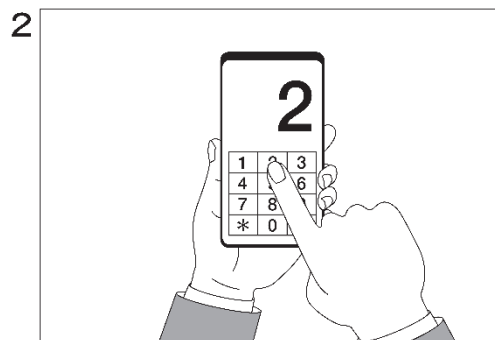
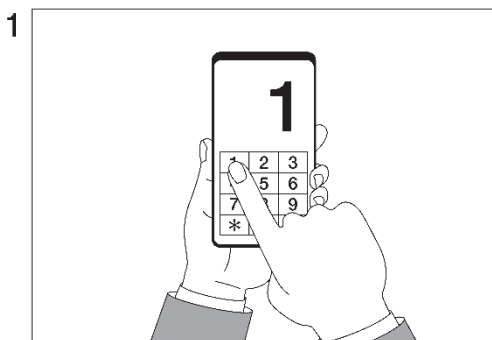
② 目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る

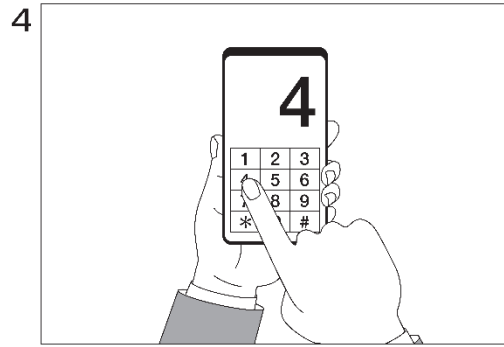
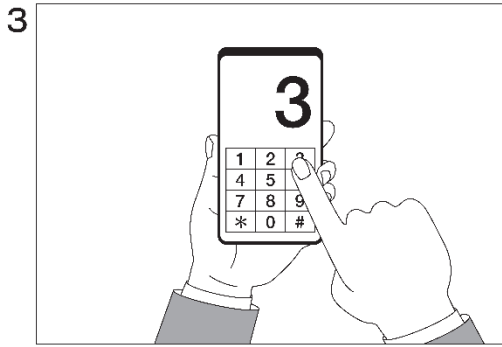
【聞くこと】思考・判断・表現

忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する問題

② (放送問題)

あなたは買物からの帰宅後、ショッピングセンターに傘を忘れたことに気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。





(スクリプト)

This is ABC shopping center. Thank you for calling. How can we help you? If you want to know our opening hours, please choose number 1. If you want to join our shopping club, please choose number 2. If you lost something in our shopping center, please choose number 3. If you have any questions about shops and restaurants in our shopping center, please choose number 4.

(正答) 3

㊟ 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く

(1) 【書くこと】知識・技能

与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題

㊟ (1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば ( ) 内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I ( do ) my homework then.

[答え] was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I ( visit ) my uncle in London.

I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

**A** : Oh, you have a new watch!

**B** : Yes, I got it yesterday.

**A** : (      buy      ) the watch?

**B** : At a department store near the station.

(正答例) ①    ▪ am going to visit  
                  ▪ will visit  
                  ②    ▪ Where did you buy

## 5 児童生徒質問紙調査の結果からみた子どもの姿

子どもたちの学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問の結果です。  
令和5年度 児童生徒質問紙 (県民運動関連)

項目	小学校														
	市					県					県との比較				
	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1
1 子どもたちの基本的生活習慣の状況(朝食を毎日朝食べている・毎日、同じくらいの時刻に起床就寝している)	85.6	85.2	87.4		86.3	88.1	88.5	88.5		89.2	-2.6	-3.3	-1.1		-2.9
2 子どもたちの自尊感情の状況(物事を最後までやり遂げる・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する・自分には良いところがある等)	86.5	77.2	82.2		84.9	81.9	79.5	80.2		84.7	4.6	-2.4	2.0		0.2
3 将来の夢や目標を持っている	83.8	78.9	88.3		74.4	80.6	78.3	79.7		82.6	3.2	0.6	8.6		-8.2
4 平日の学習時間【1時間以上】	71.1	53.7	46.6		49.5	54.0	56.5	59.6		64.2	17.1	-2.8	-13.0		-14.7
5 授業時間以外に読書をする【10分以上】	65.7	47.3	53.5		63.2	57.2	56.8	58.6		63.9	8.5	-9.5	-5.1		-0.7
6 家の人と学校での出来事について話をする					67.5					76.6					-9.1
7 家で、自分で計画を立てて勉強している	69.3	57.9	65.0		72.7	68.7	69.5	72.8		71.7	0.6	-11.6	-7.8		1.0
8 学校に行くのは楽しい	88.3	86.3	81.6		86.4	84.0	85.0	83.2		85.5	4.3	1.3	-1.6		0.9
9 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.8	86.3			80.3	89.8	87.0			87.8	3.0	-0.7			-7.5
10 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれますか	97.3				89.7	94.3				94.2	3.0				-4.5
11 地域の行事の参加	55.8	54.7	49.5		59.9	64.4	58.3	65.7		74.1	-8.6	-3.6	-16.2		-14.2
12 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある、何かしてみたいと思う	74.7	47.3	50.7		50.4	77.9	50.2	52.4		52.5	-3.2	-2.9	-1.7		-2.1
13 子どもたちの規範意識(いじめはどんな理由があってもいけないこと、人の役に立つ人間になりたい、困っている人を助けている等)	97.3	91.3	97.2		92.7	95.3	94.0	96.6		95.0	2.0	-2.7	0.6		-2.3
14 国語の授業の内容はよくわかる	89.1	83.1	76.7		83.7	86.1	84.3	84.9		86.3	3.0	-1.2	-8.2		-2.6
15 算数(数学)の授業の内容はよくわかる	91.9	76.8	87.4		77.8	83.3	82.3	87.0		85.7	8.6	-5.5	0.4		-7.9
16 英語の勉強は大切だ	96.4	93.7				92.3	87.1				4.1	6.6			
16 英語の授業の内容はよくわかる															
17 授業で学習したことは、社会に出たとき役立つ	94.6	83.9	93.3		89.3	93.3	88.2	92.6		92.5	1.3	-4.3	0.7		-3.2



令和5年度 児童生徒質問紙 (県民運動関連)

項目	中学校														
	市					県					県との比較				
	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1
1 子どもたちの基本的生活習慣の状況(朝食を毎朝食べている・毎日、同じくらいの時刻に起床就寝している)	90.8	87.0	86.8		90.0	87.1	88.4	88.1		87.5	3.8	-1.3	-1.4		2.5
2 子どもたちの自尊感情の状況(物事を最後までやり遂げる・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する・自分には良いところがある等)	87.2	79.7	86.2		92.4	80.9	78.6	77.3		80.0	6.3	1.1	8.9		12.4
3 将来の夢や目標を持っている	68.8	60.2	75.0		79.8	66.9	68.6	70.3		69.5	1.9	-8.4	4.7		10.3
4 平日の学習時間【1時間以上】	63.3	71.7	70.7		50.9	64.9	68.5	73.3		67.5	-1.6	3.2	-2.6		-16.6
5 授業時間以外に読書をする【10分以上】	62.4	42.4	49.2		55.3	44.7	44.1	46.1		45.5	17.7	-1.7	3.1		9.8
6 家の人と学校での出来事について話をする					86.9					76.0					10.9
7 家で、自分で計画を立てて勉強している	67.8	58.4	65.6		66.7	58.1	62.1	65.0		52.6	9.7	-3.7	0.6		14.1
8 学校に行くのは楽しい	88.1	84.1	89.7		91.2	83.8	84.3	83.0		83.8	4.3	-0.2	6.7		7.4
9 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.6	87.6			94.7	89.2	88.7			83.1	4.4	-1.1			11.6
10 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくださいか	97.2				94.7	91.5				87.5	5.7				7.2
11 地域の行事の参加	72.5	54.0	56.0		56.1	47.0	46.8	52.5		56.8	25.5	7.2	3.5		-0.7
12 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある、何かしてみたいと思う	82.6	49.6	57.7		61.4	68.8	43.4	46.9		40.2	13.8	6.2	10.8		21.2
13 子どもたちの規範意識(いじめはどんな理由があってもいけないこと、人の役に立つ人間になりたい、困っている人を助けている等)	92.4	94.4	98.3		99.4	93.1	94.2	96.0		95.7	-0.8	0.2	2.3		3.7
14 国語の授業の内容はよくわかる	84.4	82.3	92.2		79.9	83.3	84.5	83.7		81.1	1.1	-2.2	8.5		-1.2
15 算数(数学)の授業の内容はよくわかる	84.4	70.8	79.3		83.3	79.1	82.4	77.5		79.1	5.3	-11.6	1.8		4.2
16 英語の勉強は大切だ	91.7	74.3				89.0	78.4				2.7	-4.1			
16 英語の授業の内容はよくわかる	78.9					67.6					11.3				
17 授業で学習したことは、社会に出たとき役立つ	91.1	84.4	87.1		90.0	85.4	78.0	83.5		84.9	5.8	6.4	3.6		5.1

### (1) 基本的な生活習慣にかかわること

- ◇◆ 「毎日の朝食摂取や規則正しい起床就寝」については、小学校では全国・県の平均を下回っています。中学校では全国・県の平均を上回っており、改善傾向がみられません。

### (2) 家庭での学習や生活にかかわること

- ◇◆ 「平日の学習（それぞれ1時間以上）」については、小学校では全国・県の平均を上回っており、大幅な改善がみられます。中学校では、全国・県の平均を下回っています。
- ◇ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに県の平均を上回っており、改善傾向がみられます。

### (3) 学校教育に関すること

- ◇ 「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国や県の平均を上回っており、改善傾向がみられます。
- ◇ 「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国や県の平均を上回っており、改善傾向がみられます。
- ◇ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれる」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国や県の平均を上回っています。

### (4) 自尊感情、規範意識等に関すること

- ◇ 「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国や県の平均を上回っています。
- ◇ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国や県の平均を上回っており、昨年度に比べると改善がみられます。
- ◇◆ 子どもたちの規範意識（人が困っているときは進んで助ける、いじめはどんなことがあってもよくないことだと思う、人の役に立つ人間になりたい等）は、小学校では、全国・県の平均を上回っています。中学校では、県の平均を下回っており、下降傾向がみられます。

### (5) 読書習慣に関すること

- ◇ 「授業時間以外に読書をする（10分以上）」については、小・中学校ともに全国・県の平均を上回っており、大幅な改善がみられます。

### (6) 地域や社会の活動に関すること

- ◇◆ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合は、小学校では、全国や県の平均を下回っていますが、経年的にみると高くなっています。中学校では、全国や県の平均を大きく上回っており、大幅に高くなっています。
- ◇ 「授業で学習したことは、社会に出たとき役立つ」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国や県の平均を上回っています。

## 6 学校質問紙調査の結果から見えてきた傾向

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問の結果です。

- ◇ 授業研究や事例研究など実践的な研修が行われています。
- ◇ 学校運営の状況や課題を全職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいます。
- ◇ 教育内容や教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせて、指導計画が作成されています。
- ◆ 「個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している」結果に課題が見られます。
- ◆ 小中連携に関しては「研究授業を行うなど、合同して研修を行ったか」「教育課程に関する共通の取組」については課題がみられ、引き続き、連携を進めていく必要があります。

## 7 市教育委員会及び学校における今後の取組

### (1) 学力向上推進協議会の推進と家庭・地域との連携

- 時間を決めて学習や読書に取り組むことができるよう、家庭の理解と協力を得て、家庭学習強化期間やノーメディアデー等の取組を推進します。
- 規則正しい生活習慣づくりや携帯電話やゲーム、インターネットの適正な使用についてのルールづくりについて、引き続き、家庭・地域・関係機関と連携しながら取り組みます。
- 子どもたちの学力の定着や向上のため、各学校の状況や課題等を共有し、課題改善に向けた取組を推進します。

### (2) 学力向上推進委員会の開催

各学校の授業改善に資するよう、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果を分析し、市全体としての成果と課題について共通理解を図るとともに、紀州教育支援事務所と連携し、学力向上の方策について検討します。また、各校の実践交流を行い、教職員の授業力、実践力の向上を図ります。

### (3) 継続した授業改善の推進

- 「主体的で対話的で深い学び」の充実に向けて、指導方法の改善を推進します。
- 「めあて」\*と「振り返り」を位置づけた授業を展開します。  
「めあて」\*: 単元や授業の目標やねらいを示したもの。「何ができる(わかる)ようになるのか」「何についてどのようになればよいのか」等、子どもたちが授業でめざすゴールの姿をイメージすることができるよう、学習の目的や方向性を示し、見通しを子どもたちにもたせるためのもの。
- 全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果分析を活用して、自校の強み・弱みを把握し、授業改善に役立てていきます。
- 児童生徒が意欲的に学習課題に取り組むことができるようICTの効果的な活用を図ります。

#### (4) 校内研修の充実

- 各校の課題や学習指導要領の内容を踏まえた授業改善に向けて、校内研修の充実を図ります。
- 各校の要請に基づき、紀州教育支援事務所と連携して、校内研修の指導・支援を図ります。

#### (5) 読書活動の推進

- 読書に親しんだり、授業で活用したりする活動を推進し、子どもたちが知識を広げ心豊かに成長するよう、学校図書館活動の充実と活性化に努めます。
- 図書館ボランティアを活用し、学校図書館の環境整備と利用拡大を図ります。
- 図書館司書の配置（拠点校）を推進します。

#### (6) 家庭学習の充実

- 家庭学習の課題の工夫に努めます。
- 家庭学習の方法について、子どもの実態を踏まえ具体的に指導します。
- 家庭学習の時間を確保し、学習習慣を定着させるために、家庭との連携を図ります。
- 三重県教育委員会が作成している学—Vivaセットやワークシート等を活用します。

#### (7) きめ細かな指導体制の充実

学びのサポーターの配置を継続し、個に応じた指導の充実を図ります。

#### (8) ふるさと教育支援事業の充実

子どもたちがふるさと尾鷲に愛着を持ち続けるため、自然、歴史、産業、伝統文化に関わる様々な体験活動を通して、その郷土愛や自尊心を育む教育の充実を図ります。